

みどりの風

(URL) <http://www.ginzado.ne.jp/~k-iskwj/> (E-mail) k-iskwj@educet.plala.or.jp



2学期最後や2020末まで、そしてその先も、笑顔忘れずに

ときは永禄3年(1560年)。まだ江戸時代前の戦国時代…。ある武将が戦(いくさ)に出向くにあたり、戦勝祈願のために、兵を連れて熱田神宮を訪れた時のこと。武将はその時まだ27歳。戦国武将としてはまだヒヨッコです。

さて、その武将。熱田神宮に祈願した後、熱田出身の侍である加藤図書助順盛(かとうずしよのすけのぶもり)に声を掛け、「神前に捧げる御神酒の酌をせよ」と命じます。

命じられた加藤。加藤は御神酒のお酌をすると、その武将、周りの兵たちに聞こえるように、加藤にこう言いました。

「加藤!」「加藤よ。今日の戦は勝とう!」

今だったら、全員ドン引きするかもしれない、オヤジギャグです。でも、これを聞いた兵たちは、こう思ったかもしれません。「うちの大将は、若いのに意外とやるな」、「さすが!面白い!心に余裕がある」。

そのおかげかどうかは分かりませんが、絶対的に不利と言われたその戦は奇跡的な勝利に終わったとのこと。出陣前に、オヤジギャグをとばした武将の名は織田信長。戦の相手は今川義元。そうです。桶狭間の戦いでした。ギャグ1つで兵の士気をあげた信長。若くして大物だったようです。

こういったダジャレは時や場所を選びます。タイミングもあるでしょう。聞く方も気をつかいます。ですが、ユーモアや笑いは、人に元気をもたらすことが多くあります。この話は、作り話ではなく、古い文献(『尾張名所図会』)の一部に記録が残っているそうです。

.....

さて、石川小学校では、2学期は、「石川笑学校」を創ろうを合い言葉に奮闘してきました。子ども、職員、家庭、地域、加茂、新潟、日本、世界にとって大変な時代を乗り越えていく1つの手段として、「笑顔」「笑うこと」を大事にしていこうと考えたからです。どうでしょう…。お子さんの笑顔は増えたでしょうか。

今学期も様々なことがあり、その都度考え、学び、時には悩み、また感動・感謝しながら、心と身体と学力を育ててきました。とは言っても、思いやりや感動の心、挨拶、自己有用感や自信、自分や人のためにがんばろうとする意欲は、最も小さい社会の単位である「家庭」で育まれると言われています。

12/24から冬休み。「家庭」での生活や「家族とのかかわり」がとても強くなる、大事な15日間です。「家族の一員」としてどのようにふさわしい生活をしていくか。そして、笑顔で生活することが、この冬休みの大事なめあてになりそうです。

.....

願いがあります。「家族で一緒に大掃除をしたり料理を作ったりする」「お正月ならではの遊びや書き初めを楽しむ」のも良い取組ですが、ぜひ、笑いや笑顔のある年末年始をお過ごしいただきたいのです。

もしかすると、ある子によっては辛いことがあったかもしれません。ある家族には切ないことがあったかもしれません。けれども、各家庭での明るい生活が、子どもに次のエネルギーを与えたいと思います。前向きな姿を育てます。にこにここと、そしてかしこくたくましく過ごし、気付き考え行動し、家族の皆さんと一緒に、あたたかな心で毎日過ごすことができますことを願っております。

.....

子どもによって充実した冬休みに、また、素敵な年末年始になりますように、冬休みの計画づくりを含め、ご家庭での準備をお願いします。そして、1月8日に全員が無事に登校できますようご支援ください。